

第5回

「クリムトの幻影」

小林美恵 ウィーン世紀末を弾く

小林美恵

華麗なるヴァイオリンの伝説 全6回

©Akira Muto

2020年5月24日(日) 15時公演の振替公演です。お手持ちのチケットで入場可能です。公演当日までチケットを大切に保管してください。

2021 **2.26** (金) Hakuju Hall 入場料 全席指定 5,000円(税込)
19:00開演(18:15開場) ▶ 18:40~浦久俊彦によるプレトーク

その甘美な音色は、天使の歌声か？ 悪魔のささやきか？ 人の手によるもっとも完璧な楽器といわれる「ヴァイオリン」。科学も最新テクノロジーも寄せ付けない、その神秘の世界に日本が誇るヴァイオリニスト、小林美恵が挑む！文化芸術プロデューサーの浦久俊彦をパートナーに歴史・アート・社会など、これまでにない多彩な角度からヴァイオリンの神秘と魅力を徹底解剖！ヴァイオリンファンから、クラシック音楽の初心者まで、誰もが楽しめる新時代のトーク&コンサートです。

出演

小林美恵 ヴァイオリン Mie Kobayashi, violin
上田晴子 ピアノ Haruko Ueda, piano
浦久俊彦 ナビゲーター Toshihiko Urahisa, navigator

曲目

クライスラー：ウィーン狂詩的小幻想曲
Kreisler: Viennese Rhapsodic Fantasietta
マーラー：交響曲 第5番 嬰ハ短調より 第4楽章 アダージェット
Mahler: The 4th Movement Adagietto from Symphony No.5 in c# minor
シェーンベルク：幻想曲 op.47
Schönberg: Phantasy op.47
R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18/TrV 151 他
R. Strauss: Sonata for Violin and Piano in E b major op.18/TrV 151

上田晴子(ピアノ)
©三浦興一

小林美恵

華麗なるヴァイオリンの伝説

第5回

「クリムトの幻影」

小林美恵 ウィーン世紀末を弾く

第6回

シリーズ最終回
次回内容

ある日、一枚の絵葉書が届きました。クリムトの「接吻」魅惑的な絵でした。ヴァイオリンのケースに入れて、いつも眺めていました。ある時、ふと、この後この二人はどうなるのだろうと思いました。このまま二人は崖の下に落ちるのだろうか？ 男性だけが残るのだろうか？ それとも？ それを確かめるために、ベルヴェデーレ宮殿に実際に観に行ったことを、懐かしく思い出します。今でも歩いて角を曲がれば、モーツァルトやベートーヴェンとすれ違うのではと感じるウィーンの街。ウィーンで生活した多くの偉大な作曲家たちの体温までも側に感じるこの街の19世紀末は、どんな空気の匂いがしていたのだろうと思います。古いものと新しいもの、東洋と西洋、幻想や夢、生と死、いろいろなものが渾然と渦巻いていて、その爛熟した中から何かを敏感に感じ、聴いていたかもしれない。それはもしかしたら、現代ではどこかに置き忘れてきてしまったものかもしれないと思うのです。

小林美恵

ヴァイオリンの神秘と魅力に迫る小林美恵の人気シリーズ「華麗なるヴァイオリンの伝説」第5弾！ テーマは、20世紀芸術に大きな足跡を残したウィーン世紀末です。東方と西方が交わる「民族・文化の十字路」として独自の文化・芸術を育んだ都市ウィーンは、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、マーラーなど名だたる大音楽家が活躍した音楽の都でもあります。栄華を極めたハプスブルク帝国の都ウィーンが、まさに落日の輝きを見せたのが、世紀末ウィーンの多彩な芸術運動でした。そのウィーンならではの輝きと響きを、美しきヴァイオリンの音色とともにお届けいたします。

浦久俊彦

(作家・文化芸術プロデューサー)

「宵ひ待ち草が見た夢」小林美恵 東欧&アジアを弾く
2021年10月31日(日) ピアノ：ジャンミッシェル・キム

小林美恵 ヴァイオリン Mie Kobayashi, violin



© Akira Muto

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール第2位。84年海外派遣コンクール河合賞受賞。88年にはシュボア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。90年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。これまでに、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、ブラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。また、静岡のAOIレジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げ、軽井沢国際音楽祭に毎年出演するなど音楽祭にも積極的に参加している。CDは、「ブレイズ・クライスラー」、パスカル・ロジェとのデュオ「フォーレ作品集」「ラヴェル&エネスコヴァイオリン・ソナタ集」、ツイゴイネルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」などに加え、2018年5月には、新CD「J.S.バッハ、無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&バルティータ(全曲)」がリリースされた。10年には、紀尾井ホールでデビュー20周年の記念リサイタルを行い、同年ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。12年には、パキスタンで行われた日パキスタン国交樹立60年の記念演奏会に出演。そのほか、フランス、イギリス、タイ、中国、韓国、ニュージーランド等でも公演を行い、洗練され、しかもダイナミックに奏でられる重厚な演奏は、多くの聴衆を魅了した。15年のデビュー25周年、2年間で6回の記念リサイタルを企画、好演。18年2月からは、Hakuju Hallにてリサイタル新シリーズ「小林美恵 華麗なるヴァイオリンの伝説」(全6回)を開始した。今後も日本を代表するヴァイオリニストとして、リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など全国各地で公演が予定されている。現在、昭和音楽大学客員教授。

公式ホームページ <http://miekobayashi.com/>

上田晴子 ピアノ Haruko Ueda, piano



© 三浦興一

東京藝術大学附属高等学校、同大学卒業、同大学院修了後、ロータリー財団奨学生として渡仏、パリ・ヨーロッパ音楽院卒業。1986年、ロン＝ティボーコンクール入賞、95年、日本国際ヴァイオリンコンクール最優秀伴奏者賞など受賞。ソリスト、室内楽奏者として日、欧で演奏活動を行う。共演する演奏家は、J.J.カントロフ、P.ヴェルニコフ、O.シャルリエ、千々岩英一、小林美恵、玉井菜採、A.デュメイ、S.ルセフ(vn)、B.バスキエ(va)、堤剛(vc)、M.アリニョン、N.バルディール(c)、エネスコSQ等。録音は、ALMより、カントロフとのCD「プロコフィエフ、シュトラウス・ヴァイオリン・ソナタ集」(レコード芸術誌準特選)、特選の「ドホナニ、エネスコ・ヴァイオリン・ソナタ集」「エネスコ、プゾーニ・ヴァイオリン作品集」「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲集 vol.1, vol.2, vol.3」、M.アリニョンとのCD(レコード芸術誌準特選)、オクタヴィアレコードより千々岩英一との「ボエム」(レコード芸術誌準特選)、フランスのレーヴェルでL.コルシアとの「ミスターバガニーニ」、郷古廉との「ブラームスソナタ」など多数。19年2月、姫路市文化芸術賞受賞。現在パリ国立高等音楽院室内楽科教授、ピアノ科准教授。

浦久俊彦 ナビゲーター Toshihiko Urahisa, navigator (作家・文化芸術プロデューサー)



© 新津保健秀

文筆家、文化芸術プロデューサー。パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。一般財団欧州日本芸術財団代表理事、代官山末来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督、三島市文化アドバイザーなど、その活動は多岐にわたる。著書に「フランツ・リストはなぜあなたを失神させたのか」、「悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト」(以上、新潮社)、「138億年の音楽史」(講談社)などがある。2020年6月に『フランツ・リストはなぜ〜』の韓国語版『フランツ・リスト〜ピアノの誕生』が、韓国で出版された。最新刊は「ベートーヴェンと日本人」(新潮社より20年11月に刊行)。

公式ホームページ <http://www.urahisa.com>



ご来場のお客様へ

- 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、公演中止・延期となる可能性があります。また、感染症防止の観点から、座席配置は状況に応じた対応をとっております。そのため、公演当日に座席のご移動をお願いする場合がございますので予めご了承ください。最新情報はHakuju Hallホームページにてご確認ください。
- 最後列Q列はクライニング席となります(チケット料金は変わりません)。
- 出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 出演者・曲目の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしません。
- 一度お求めいただいたチケットの変更、キャンセルはできません。
- 未就学児の入場はご遠慮ください。
- 車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakuju Hallまでご連絡ください。
- ホールには駐車場がございます。
- ご来場の際に、Hakuju Hallホームページに掲載しております、Hakuju Hall感染症予防の取り組み(Hakuju モデル)をご一読いただけますよう、お願いいたします。



〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 TEL 03-5478-8867
最寄駅：代々木公園駅(千代田線) 出口1より徒歩5分
代々木八幡駅(小田急線) 南口より徒歩5分
バス：富ヶ谷バス停下車 徒歩1分 / 渋谷駅西口バスターミナルより10分
※ 渋63(中野行)、渋64(中野行)、渋66(阿佐ヶ谷行)、渋69(笹塚循環)

お問い合わせ

Hakuju Hall チケットセンター
03-5478-8700
火～金 11:00～17:00 (祝日・休館日を除く)

LINE 公式アカウント
はじめました！
友だち追加はこちらから！



HAKUJU

株式会社 白寿生科学研究所は、音楽を通じて
「ゆとりある精神」を実現する場を提供いたします

ハクジュホール

検索